

# 令和8年第2回那珂市議会定例会 市長記者会見 定例記者会見（発言内容要旨）

開催日 令和8年5月29日（金）10:00

開催場所 那珂市役所庁議室



## 【市長あいさつ】

おはようございます。

報道機関の皆さまには、お忙しい中、本日の記者会見にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日頃から本市の各種施策やイベント等の情報発信にご協力いただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

ゴールデンウィーク期間中には、市内の小中学生を含む市民の皆さまや市議会議員の皆さまとともに、友好交流協定を締結している台湾・台南市を訪問してまいりました。現地では、台南市政府や市議会への表敬訪問のほか、環境保護をテーマとしたサイクリングイベントに参加し、現地の小学生や市民の皆さまと交流を深めることができました。

また、那珂市訪問団の様子が台湾の全国紙で紹介されるなど、大変温かい歓迎を受けました。台南市からは、今後さらに両市の交流を発展させていきたいとお言葉もいただき、非常に有意義な訪問となりました。

さらに、来月には、中学生交換交流事業として、本市の姉妹都市であるアメリカ合衆国テネシー州オークリッジ市の中学生が来日する予定です。昨年、姉妹都市提携35周年を迎えたこの交流事業は、長年にわたり継続されてきた大切な取り組みです。

今後も、子どもたちが異なる文化や価値観に触れる機会を通じて、多様性を尊重する心やコミュニケーション能力を育むことができるよう、交流事業を推進してまいります。

報道機関の皆さまには、引き続き本市の情報発信にご協力いただきますようお願い申し上げます。

## <記者会見説明事項>

### 記者会見資料 2 「令和 8 年第 2 回那珂市議会定例会提出予定案件について」 の説明

令和 8 年第 2 回那珂市議会定例会の会期は、6 月 2 日から 6 月 1 9 日までの 1 8 日間を予定しています。

提出案件は、報告 4 件、専決処分に係る議案 3 件、条例の一部改正 2 件、令和 8 年度補正予算 1 件、その他 4 件の計 1 4 件です。

議案第 3 7 号 令和 8 年度那珂市一般会計補正予算（第 1 号）

歳入歳出それぞれ 3, 3 9 0 万 5 千円を追加し、予算総額を 2 7 6 億 2, 3 9 0 万 5 千円とするものです。

主な内容は次のとおりです。

#### ●総務費

庁舎管理事業において、庁舎空調設備に係る修繕料等を増額します。

#### ●民生費

敬老事業において、敬老会開催自治会数の増加に伴い補助金等を増額します。

昨年度は 6 8 自治会中 7 自治会での開催でしたが、制度の見直しにより補助内容を拡充した結果、本年度は 3 7 自治会で開催予定となっています。地域コミュニティの維持や自治会活動の活性化につながるものと期待しています。

#### ●農林水産業費

担い手育成支援事業として、経営改善を目的とした農業機械導入に係る補助金を増額します。

#### ●消防費

自主防災組織育成事業として、自主防災組織結成に係る補助金を増額します。

市内全自治会での自主防災組織設立を目指して取り組んできた中で、最後の 1 自治会でも設立に向けた動きが進んでいることによるものです。

#### ●教育費

給食センター施設管理事業において、食器類乾燥用熱風送風機に係る修繕料等を増額します。

## 記者会見資料3「市政に関する告知事項について」の説明

### ○いい那珂フェスティバル2026 第1部

8月22日、「なか LuckyFM 公園」において、ひまわり畑の公開及び花火大会を開催します。

見頃を迎えるひまわり畑にはフォトスポットや見晴らし台を設置し、午後7時から花火大会を実施します。会場では飲食・物品販売ブースも出店予定です。

また、リニューアルオープンした「ザ ボタニカルリゾート林音」との連携イベントについても検討を進めています。

### ○オークリッジ市中学生交換交流事業

那珂市とオークリッジ市では、毎年中学生の交換交流事業を実施しています。

本年度は、6月にオークリッジ市の中学生が来日し、8月には那珂市の中学生を派遣する予定です。

歓迎交流会は、「ザ ボタニカルリゾート林音」において開催する予定です。

### ○下大賀遺跡出土品展

国道118号拡幅工事に伴う発掘調査で出土した土器や遺物を展示します。

普段、目にすることのできない貴重な出土品を通して、地域の歴史や当時の暮らしを知る機会を提供します。

### ○男女共同参画啓発講演会

6月6日、女性ネットワークなか主催により、フリーアナウンサー高信佳子氏を講師に迎え、「アナウンサーに学ぶコミュニケーション術～印象アップは笑顔から～」を開催します。

### ○ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター展

広島平和記念資料館所蔵の原爆写真ポスターを展示するとともに、被爆証言映像を上映します。

市遺族会の協力を得ながら、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代へ伝える機会とします。

### ○那珂市まちづくり委員会対抗ニュースポーツ大会

市スポーツ協会主催による初開催の大会です。

ボッチャ、オーバルボール、シャフルボードの3種目を通じて、世代を超えた交流や健康づくり、地域コミュニティの活性化を図ります。

### ○子ども会親睦球技大会

市内の子どもたちの交流と親睦を深めるため、親睦球技大会を開催します。

### ○親子の集い

親子の交流促進を目的に開催します。

本年度は、子ども会未加入世帯も参加可能とし、バルーンアートやボルダリングなどの体験型イベントを実施します。

## <質疑応答について>

### 記者会見資料2「令和8年第2回那珂市議会定例会に提出予定案件等について」の質問事項

#### ①学校教育情報化推進事業における生成A I活用について

##### 【質問1】

学校教育情報化推進事業における生成A I活用はどのような内容ですか。

##### 【回答1】

国から生成A Iパイロット校の指定を受けて実施する事業です。対象校は白鳥学園（瓜連小学校・瓜連中学校）で、生成A Iの利活用に関する取組を進めます。

専門家を招いた委員会を設置し、教職員の働き方改革や教育実践の創出につなげていく予定です。

##### 【質問2】

業務改善とは具体的にどのような内容ですか。

##### 【回答2】

教職員の働き方改革の一環として取り組むもので、学力に応じた教材やプリント作成などへの活用を想定しています。また、先進地視察や成果報告会なども予定しています。

##### 【質問3】

契約期間は単年度ですか。

##### 【回答3】

単年度事業となります。

#### ②敬老会事業について

##### 【質問1】

補助制度の内容について教えてください。

##### 【回答1】

これまでの制度では、75歳以上の対象者1人あたり1,050円を補助し、自治会ごとに敬老会開催や記念品配布などに活用していただいていた。

制度見直しにより、市が喜寿・米寿対象者へ直接祝い品を届けることとし、自治会の負担軽減を図りました。

また、敬老会を開催する自治会には参加者1人あたり3,500円を補助する制度に改めた結果、多くの自治会で開催の意向が示されるようになりました。地域コミュニティの再構築にもつながるものと期待しています。

### ③担い手育成支援事業について

#### 【質問1】

担い手育成支援事業の内容について教えてください。

#### 【回答1】

農業機械導入に対する補助事業です。補助割合は国が10分の3、事業者負担が10分の7となっています。経営改善を目的とした農業機械の導入を支援するもので、今回の補正予算では1事業者が対象となっています。

## 記者会見資料3「市政に関する告知事項について」についての質問事項

### ①「下大賀遺跡出土品展」について

#### 【質問1】

下大賀遺跡出土品展は毎年開催しているものですか。

#### 【回答1】

今回が初めての開催です。

下大賀遺跡からは学術的にも貴重な出土品が見つかっており、多くの方にご覧いただきたいという趣旨で開催します。

展示品の中には、「しどりのたのおさ」と読まれる文字が記された土器があり、当時の役職を示すものと考えられています。このような資料は地域の歴史を知るうえで非常に貴重なものとなっています。

### ②「那珂市まちづくり委員会対抗ニュースポーツ大会」について

#### 【質問1】

大会開催の背景として、運動会が成り立ちにくくなっている現状について説明がありましたが、どのような状況なのでしょう。

#### 【回答1】

市内には9つの小学校と5つの中学校があり、地域ごとの市民運動会も行われてきました。

しかし、少子化の影響により、学年対抗リレーなどの種目が成立しにくくなっている状況があります。

かつては多くの地域で市民運動会が開催されていましたが、現在、市民運動会として継続しているのは菅谷地区と瓜連地区の2地区となっています。

五台地区では、以前は大変盛んに運動会が行われていましたが、少子化などの影響を受け、思い切ってニュースポーツへ移行しました。ニュースポーツは子どもから高齢者まで誰もが参加しやすいことから、その取組が市内各地域へ広がってきています。

今回の大会は、その流れを受けて市全体として初めて開催するものです。

【質問2】

市全体での開催は初めてですか。

【回答2】

初めてです。

これまでは各地域が主体となって大会を開催し、他地域にも参加を呼びかける形でしたが、市全体で実施した方がより効果的であるとの考えから、市スポーツ協会主催による全市的な大会として開催することになりました。

③いい那珂フェスティバル2026について

【質問1】

第2部の内容について教えてください。

【回答1】

現在の予定では、10月25日に宮の池公園周辺で開催する予定です。

実行委員会形式で実施しているため、詳細な内容については今後実行委員会で決定されます。

【質問2】

二部制にした理由は何ですか。

【回答2】

これまでは「那珂ひまわりフェスティバル」として、イベントと花火大会を同日に開催していました。

しかし、駐車場不足や8月下旬の暑さへの対応などの課題があったため、花火大会は夏に開催し、大規模イベントは秋に実施する形へ見直しました。

記者会見資料以外の質問事項について

①道の駅整備関連について

【質問1】

道の駅整備に関する住民投票条例制定請求について、どのように受け止めていますか。また、説明が不十分だったという意見についてはどう考えていますか。

【回答1】

住民投票条例制定を求める署名活動が行われたことについては、非常に残念に思っています。

市としては、説明会の開催やパブリックコメントの実施など、一定の説明は行ってきたと考えています。しかし、それでも説明が十分ではないと感じる方がおり、このような動きにつながったものと受け止めています。

道の駅は、産業振興や交流人口の拡大、市の魅力発信など、地域振興の大きな起爆剤になると考えています。

今後も必要に応じて丁寧な説明を行いながら、議会の承認をいただいて進めている事業として着実に推進していきたいと考えています。

(補足説明)

住民投票条例制定請求に関する今後の日程について、総務部長から次の説明がありました。

6月29日 臨時会開会

7月 2日 特別委員会開催（請求者による意見陳述）

7月 6日 本会議採決

【質問2】

利用者数の推計が過大ではないかとの指摘についてはどう考えていますか。

【回答2】

利用者数の算出については、絶対的な算定方式があるわけではありません。

市では、近隣の道の駅で実際に採用されている手法を参考にしながら、現実的な数字を基に推計を行っています。

一方で、異なる算定方法による意見もありますが、市としては近隣事例との比較や交通量調査などを踏まえた数値であり、妥当なものと考えています。

(補足説明)

また、副市長からは、4月の全員協議会において算定方法や根拠について説明しており、近隣道の駅との比較からも過大な数字ではないとの認識を示しました。

## ②広域合併について

【質問1】

広域合併に関する考え方について教えてください。

【回答2】

個人的な考えとして、将来的には県内の自治体再編や道州制のような議論が進む可能性はあると思っています。

ただし、仮に合併が行われたとしても、それぞれの地域のアイデンティティや特色が失われないような仕組みづくりが重要です。

現在は、水戸市を中心とした連携中枢都市圏構想の中で広域連携を進めており、それぞれの自治体の特色を活かしながら地域全体の魅力を高めていくことが大切だと考えています。

現時点では、すぐに合併が進む状況にはないと認識しています。

③水戸ホーリーホックの水戸信用金庫スタジアム（笠松運動公園）へのホーム移転について

【質問1】

水戸ホーリーホックのホームスタジアム移転について、市としてどのように受け止めていますか。

【回答1】

先日、水戸ホーリーホックから正式な移転に伴う説明がありました。

笠松運動公園は那珂市、ひたちなか市、東海村に近接しており、周辺自治体として協力しながら、双方にとってメリットのある関係を築いていきたいとお話もありました。

市としても大変歓迎しており、今後さまざまな形で協力していきたいと考えています。

具体的には、交通対策としてシャトルバスの運行や駐車場の活用、市内事業者による物販やイベントへの協力などが考えられます。また、市外から訪れる方々を歓迎する機運づくりにも取り組み、地域全体でホームタウンとして盛り上げていきたいと考えています。

【質問2】

那珂市独自の対策組織などを設置する予定はありますか。

【回答2】

現時点では予定しておりません。

水戸市を中心としたホームタウン協議会が既に組織されているため、その枠組みの中で連携しながら対応をしていく考えです。